

公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和6年度要求・要望額

2,097億円
+ 事項要求

(前年度予算額

687億円)



文部科学省

背景

- 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備が必要。
- 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備**を推進。
- 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備**を推進。

① 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化

老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備



激甚化・頻発化する災害への対応



台風で屋根が消失した体育館

避難所としての防災機能強化



バリアフリートイレの整備

② 防災・減災、国土強靱化の推進

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化
- 空調設置、洋式化を含めたトイレ改修等

1 新しい時代の学校施設

公立学校施設の整備

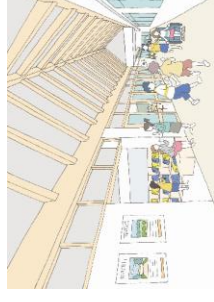
2 国土強靱化

3 脱炭素化

他施設との複合化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備

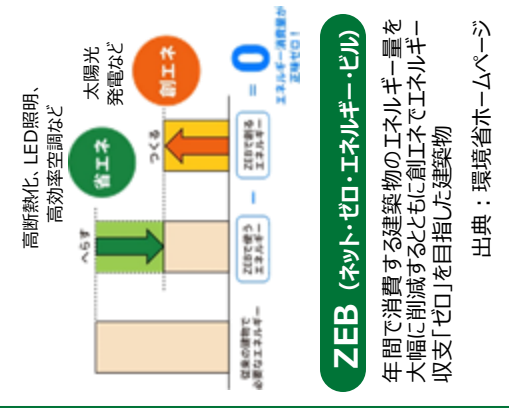


柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習環境や脱炭素化を実現



③ 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化
(高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等)
- 木材利用の促進 (木造、内装木質化)



具体的な支援策

学びの多様化学校 (いわゆる不登校特例校) や夜間中学として
小中学校等を設置する自治体に対する施設整備に係る**支援の拡充**
(廃校や余剰教室等の既存施設を改修して活用する場合における
新しい支援メニューの創設：補助率1/2)

制度改正

物価変動の反映や標準仕様の見直し等による増

対前年度比+19.4%

小中学校校舎 (鉄筋コンクリート造) の場合

R5:268,300円/㎡ ⇒ R6:320,400円/㎡

伝統文化親子教室事業

令和6年度要求・要望額 2,568百万円
(前年度予算額 1,489百万円) **ふくふく**

現状・課題

次代を担う子供たちに対して、茶道、華道、和装、囲碁、将棋、五節句等の伝統文化・生活文化・国民娯楽（以下「伝統文化等」という。）を継承・発展させるため、計画的・継続的に体験・修得できる機会を地域偏在を解消しつつ提供する。将来にわたり子供たちが文化芸術に継続して親むることができ、子供たちの豊かな心や文化的な伝統を尊重する心の育成を図り、創造力と感性を備えた豊かな人間性を涵養する。過疎化や少子高齢化等の社会状況を背景として、地域の伝統行事や芸能の担い手が減少し、継承が困難となっている状況に鑑み、これらを支える人材の育成等に繋げる。

事業内容

子供たちが親とともに、地域の茶道、華道、和装、囲碁、将棋などの伝統文化・生活文化等を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組や、伝承者養成に直結する取組を支援

地域展開型
(体験機会の提供・幅広い参加を促す)

地域展開型 1,164百万円 (159百万円)【拡充】

- ・実施主体：地方公共団体及び地方公共団体を中心とする実行委員会等
- ・事業開始年度：平成30年度

地方公共団体 16団体× 5百万円

29団体× 5百万円

実行委員会等 4団体×11百万円

56団体×16百万円

教室実施型・統括実施型
(修得機会の提供・継続的实施)

教室実施型 1,016百万円 (1,040百万円)

- ・実施主体：伝統文化等に関する活動を行う団体（伝統文化関係団体）等
- ・事業開始年度：平成26年度

統括実施型 197百万円 (197百万円)

- ・実施主体：統括団体等
- ・事業開始年度：令和3年度

伝承者養成直結型【新規】
(伝統文化等の確実な継承・発展)

伝承者養成直結型 27百万円【新規】

- ・実施主体：伝統文化等に関する活動を行う団体（伝統文化関係団体）等
- 3地域（東京・大阪・沖縄等）× 9百万円
- ・事業開始年度：令和6年度

- 審査経費等 163百万円 (92百万円)
- 審査業務のほか、教室に参加した子供や保護者、指導者を対象に事業実施について調査等を行う。



国見町伝統文化親子体験フェスタ
(地域展開型)



戸塚書道①親子教室
(教室実施型)

アウトプット（活動目標）

事業実施団体数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教室実施型	3,800	3,500	3,500
統括実施型	15	15	15
地域展開型	40	45	105
伝承者養成直結型	-	-	1~3

短期アウトカム（成果目標）

伝統文化等を体験する子供の数の増加

- 教室実施型 70,000人
- 統括実施型 7,400人
- 地域展開型 4,500人
- 伝承者養成直結型 50人
(令和5年度見込)

中期アウトカム（成果目標）

○教室実施型・統括実施型
伝統文化親子教室事業に参加した子供の意識が肯定的に変化することを目指す。

○地域展開型
地域展開型の実施によって協働した団体の数を増加させる。

長期アウトカム（成果目標）

○教室実施型・統括実施型・伝承者養成直結型
参加した子供が伝統文化等に関する活動等、継続的に伝統文化等に携わっていることを目指す。

○地域展開型
参画した指導者、保護者、子供の数の増加

担当：参事官（生活文化創造担当）